

No.	Gr	種	No.	石材	長	幅	厚	重量	寸法	説明	経路所見
765	E 41	VI	2551	Ch12	1.4	0.8	0.3	0.2	剥片	石墨調整剥片。	
766	E 43	VI	2515	Ch12	1.9	1.1	0.2	0.3	剥片	石墨調整剥片。	
767	E 43	VI	1573	Ch12	1.6	1.3	0.3	0.3	剥片	石墨調整剥片か。	
768	F 33	VI	4432	Ch12	1.6	1.1	4.5	0.6	剥片	石墨調整剥片。	
769	F 33	VI	4310	Ch12	1.3	1.0	0.3	0.5	剥片	石墨調整剥片。	
770	E 41	VI	2871	Ch12	2.6	1.7	0.8	1.3	剥片	幅長剥片。	
771	E 41	V	1908	Ch12	2.0	1.9	0.7	1.8	剥片	幅広剥片、打面調整あり、縦面後退。	
772	E 41	VI	3432	Ch12	1.0	1.5	0.2	0.2	剥片	石墨調整剥片。	
773	E 41	VI	5039	Ch12	1.8	1.6	0.3	0.7	剥片	小幅広剥片。	
774	E 41	V	1298	Ch12	1.7	1.6	0.3	0.7	剥片	石墨調整剥片か。	
775	F 33	VI	2653	Ch12	1.4	1.4	0.4	0.5	剥片	石墨調整剥片。	
776	E 41	VI	2322	Ch12	1.5	1.2	0.4	0.4	剥片	石墨調整剥片。	
777	E 41	VI	3215	Ch12	1.9	1.6	0.6	1.1	剥片	石墨調整剥片。	
778	E 41	V	1295	Ch12	2.4	1.5	0.3	1.0	剥片	幅長の小剥片。	
779	F 33	V	1159	Ch12	1.1	1.7	0.4	0.4	剥片	石墨調整剥片か。	
780	E 41	VI	2830	Ch12	2.7	1.8	0.7	1.2	剥片	780+781+782(折れ面接合)、幅長の小剥片。	
781	E 41	VI	3435	Ch12	2.7	1.8	0.7	1.2	剥片	780+781+782(折れ面接合)。	
782	E 41	VI	3864	Ch12	2.7	1.8	0.7	1.2	剥片	780+781+782(折れ面接合)。	
783	F 33	VI	4595	Ch12	1.7	2.2	0.7	2.2	剥片	幅長剥片、打面・火焔欠損。	
784	E 41	VI	4488	Ch12	1.6	1.8	0.5	0.8	剥片	石墨調整剥片。	
785	E 41	VI	4436	Ch12	2.3	1.7	0.4	1.1	剥片	不定形剥片。	
786	E 43	V	645	Ch12	2.3	2.0	0.5	1.6	剥片	幅広剥片、作業面調整あり。	
787	F 33	VI	4838	Ch12	2.0	1.5	0.2	0.7	剥片	787+788(剥片剥離接合)、幅長の小剥片。	
788	F 33	VI	4073	Ch12	1.6	1.0	0.4	1.0	剥片	787+788(剥片剥離接合)、幅広の小剥片。	
789	E 41	V	1482	Ch12	2.2	2.2	0.6	2.1	剥片	(789+790)+788(折れ面・剥片剥離接合)、作業面調整あり、幅広剥片。	
790	E 41	V	1902	Ch12	2.2	2.2	0.6	2.1	剥片	(789+790)+788(折れ面・剥片剥離接合)。	
791	E 41	VI	2814	Ch12	2.2	2.2	0.6	2.1	剥片	(789+790)+788(折れ面・剥片剥離接合)。	
792	G 41	V	6314	Ch13	0.80	1.8	0.3	1.1	打製石墨	製品、先端は使用による欠け。	
793	E 42	V	1367	Ch13	0.90	(1.2)	0.3	0.9	打製石墨	未製作。先端火焔欠損。	
794	F 53	VI	6562	Ch13	0.7	1.5	0.4	1.0	打製石墨	脚部のみ。	
795	F 33	VI	4150	Ch13	(1.0)	(1.0)	0.4	0.4	打製石墨	脚部のみ。	
796	G 61	VI	6992	Ch13	0.90	(1.0)	0.1	0.1	打製石墨	基部の火残存。未製作か。	
797	F 42	VI	5214	Ch13	0.7	1.6	0.6	0.4	打製石墨	未製作。製作工程の初期。	
798	F 61	VI	6030	Ch13	2.0	1.5	0.5	1.7	打製石墨	未製作。製作工程の初期。	
799	F 51	V	6531	Ch13	1.0	1.4	0.3	0.3	剥片	石墨調整剥片。	
800	F 31	VI	5835	Ch13	2.2	1.8	0.4	1.1	剥片	800+801(折れ面接合)、縦に裂けて二分。	
801	F 31	VI	5869	Ch13	2.2	1.8	0.4	1.1	剥片	800+801(折れ面接合)。	
802	D 44	V	97	Ch13	1.8	1.5	0.4	0.5	剥片	小剥片。	
803	G 63	VI	6670	Ch13	1.6	1.6	1.0	2.1	石核	小剥片剥離。	
804	F 64	VI	7163	Ch13	1.4	2.3	1.2	2.6	石核	小剥片剥離。最終作業面の打面は縦面。	
805	F 51	V	6472	Ch13	2.0	1.5	1.5	3.2	石核	小剥片剥離。	
806	F 53	VI	6570	Ch13	3.4	2.2	1.5	7.5	石核	幅長に違い小剥片剥離、背面側面。	
807	G 32	VI	229	Ch14	0.20	1.4	0.3	0.7	打製石墨	製品。	
808	F 34	VI	3362	Ch14	2.2	1.6	0.5	1.0	打製石墨	单地盤。製品。	
809	F 34	V	250	Ch14	2.4	2.1	0.7	2.6	打製石墨	先端・右側を大きくなじみ。	
810	F 34	VI	156	Ch14	3.1	(2.0)	0.3	1.6	打製石墨	未製作。先端火焔欠損。	
811	F 34	VI	1530	Ch14	-	-	-	-	剥片	810+811(折れ面接合)。未製作、製作過程で先端が欠け痕東か。	
812	F 31	VI	5803	Ch14	1.4	1.5	0.3	0.3	打製石墨	810+811(折れ面接合)。	
813	E 41	VI	3218	Ch14	3.8	1.6	0.5	2.1	打製石墨	未製作。製品。	
814	F 33	VI	4576	Ch14	(1.0)	(1.0)	0.4	0.7	打製石墨	先端・右側を大きくなじみ。	
815	G 32	VI	3620	Ch14	1.8	2.2	0.4	1.3	打製石墨	未製作。先端火焔欠損。	
816	F 34	VI	973	Ch14	1.1	1.7	0.3	0.4	剥片	石墨調整剥片。	
817	F 33	VI	4581	Ch14	1.3	1.5	0.5	0.4	剥片	石墨調整剥片。	
818	F 33	VI	3629	Ch14	1.8	1.4	0.5	0.6	剥片	石墨調整剥片。	
819	F 33	VI	4265	Ch14	1.6	1.5	0.4	0.5	剥片	石墨調整剥片か。	
820	F 33	VI	3318	Ch14	1.5	1.5	0.2	0.2	剥片	小剥片。	
821	F 33	VI	3287	Ch14	2.0	1.7	0.4	0.9	剥片	石墨調整剥片。	
822	E 41	VI	1918	Ch14	2.2	2.3	1.2	5.0	石核	幅広剥片剥離。打面調整・作業面調整なし。	
823	F 33	VI	3305	Ch14	3.8	1.1	1.0	1.6	剥片	崩壊状剥片。現状。	
824	F 34	VI	773	Ch14	2.8	2.6	1.3	6.6	剥片	厚手の剥片。	
825	F 33	V	1167	Ch14	3.2	2.0	1.9	7.5	石核	小形の幅長剥片剥離。打面調整なし。	
826	F 33	VI	4136	Ch14	2.3	1.2	1.7	3.1	石核	分割應需材。最終剥離は小形の幅長剥片。	
827	E 41	VI	2810	余O	1.3	0.6	0.3	<0.1	異形石器		
828	E 41	VI	2316	余O	1.3	0.7	0.2	0.2	異形石器		
829	G 64	VI	6045	余O	(1.0)	(1.0)	0.3	0.3	打製石墨	先端のみ。	

No.	Gr.	規	No.	石材	長	幅	厚	重量	器種	概要所見
830	E 43	V	672	金Ob	1.4	0.9	0.4	0.3	打製石繩	先端のみ残存。
831	F 34	V	769	金Ob	1.7	1.3	0.4	0.7	打製石繩	先端が丸みを帯びる。
832	F 42	VI	2342	金Ob	0.80	1.4	0.4	0.5	打製石繩	製品。先端・有縫欠けは使用によるものか。
833	F 31	VI	5870	金Ob	1.7	1.7	0.5	0.8	打製石繩	製品。先端は使用による欠け。
834	F 42	VI	4219	Sn	1.6	1.5	0.3	0.4	打製石繩	製品。
835	F 34	V	736	Sn	1.7	1.3	0.3	0.4	打製石繩	製品。
836	F 34	V	1778	Sn	1.3	1.4	0.3	0.4	打製石繩	製品。先端は使用による欠け。
837	E 43	V	95	Sn	1.8	2.0	0.3	0.6	打製石繩	製品。
838	F 41	V	427	Ch15	0.0	1.9	0.4	1.4	打製石繩	製品。先端は使用による欠け。
839	E 41	VI	2874	Ch16	1.7	1.6	0.7	1.7	打製石繩	未製品。底部より裏面が進む。
840	E 41	V	1485	R	3.2	2.6	0.7	5.7	打製石繩	未製品。製作工程初期のもの。
841	G 51	VI	6217	EOb	1.3	1.3	0.3	0.2	剥片	作業面調整なし。
842	F 64	V	6366	EOb	1.9	0.8	0.5	0.4	剥片	成長剥片。
843	G 51	VI	6228	EOb	2.0	0.9	0.6	0.4	剥片	成長剥片。
844	G 52	VI	7394	EOb	1.6	2.0	0.4	0.6	剥片	作業面調整あり。
845	G 51	VI	6226	EOb	1.4	1.8	0.6	0.6	剥片	打面欠缺。
846	E 74	VI	6816	HZ	6.2	2.9	1.9	35.1	剥片	分厚い。帆状剥片素材。全周に二次加工あり。
847	F 63	VI	6110	HZ	6.6	5.9	2.4	68.4	剥片	帆状剥片。
848	E 41	VI	3913	HZ	6.3	5.0	1.4	36.2	剥片	帆状剥片素材。素材剥片に作業面調整あり。剥片裏面に表面無加工部を設ける。
849	H 82	V	6123	HZ	5.6	5.6	1.2	38.5	二次加工ある剥片	帆状剥片素材。作業面調整あり。剥片末端に二次加工。
850	G 63	VI	6035	HZ	7.1	5.9	20.3	73.1	剥片	帆状剥片。帆状剥片。帆状剥片裏面の剥離は表面の裏面に説明された自然為の可能がある。
851	F 34	V	1806	HZ	5.0	3.3	0.9	10.4	二次加工ある剥片	成長剥片。難燃性有。作業面調整なし。
852	E 72	V	6801	HZ	2.1	1.1	0.4	0.7	剥片	成長剥片。
853	E 74	VI	6723	HZ	2.0	1.3	0.6	1.0	剥片	細石刃等にともなうのか。
854	F 34	V	2880	HZ	3.0	3.1	1.0	8.3	剥片	帆状剥片。背面が側面に剥離面。
855	G 31	VI	397	HZ	4.2	3.1	1.0	11.7	剥片	帆状剥片。帆反剥片。
856	D 43	VI	127	HZ	6.2	4.8	1.4	37.7	剥片	帆状剥片。作業面調整なし。
857	F 42	V	993	HZ	2.9	2.9	0.9	6.0	剥片	帆状剥片。
858	E 62	VI	7017	HZ	3.2	2.9	0.9	5.6	剥片	帆状剥片。
859	D 32	VI	222	HZ	4.7	2.8	0.8	19.5	剥片	裏面陥没にともなう剥片。
860	H 52	VI	6882	HZ	6.6	5.1	1.1	23.0	剥片	帆状剥片。作業面調整なし。
861	E 44	V	4879	HZ	6.2	2.0	0.9	7.4	二次加工ある剥片	成長剥片。作業面調整あり。右側端にわずかな二次加工あり。
862	F 34	V	784	HZ	5.6	2.9	1.3	16.1	剥片	成長剥片。難燃性有。
863	F 41	VI	7359	HZ	7.9	6.4	2.1	81.1	剥片	裏面陥没。
864	G 64	VI	6320	HZ	7.5	3.0	1.2	21.6	剥片	成長剥片。打面欠缺點。難燃性有。
865	E 72	V	6092	HZ	5.5	4.0	1.3	20.4	剥片	成長剥片。作業面調整なし。
866	F 34	V	1543	HZ	7.0	3.5	1.2	20.5	剥片	成長剥片。
867	D 74	VI	6774	HZ	7.4	2.4	1.9	30.4	剥片	成長剥片。
868	E 74	VI	6699	HZ	6.3	3.5	1.6	24.7	剥片	裏面陥没にともなう剥片。
869	H 71	VI	6243	HZ	7.6	4.5	1.4	39.3	剥片	成長剥片。作業面調整なし。
870	F 42	VI	2755	HZ	4.5	6.7	2.0	44.6	剥片	成長剥片。作業面調整なし。
871	F 41	VI	4190	HZ	4.3	7.9	1.3	27.6	剥片	成長剥片。
872	E 72	VI	6888	HZ	10.5	4.6	1.4	61.3	剥片	872+873(折れ面接合)。帆状剥片。打点繩。
873	E 71	VI	6140	HZ	-	-	-	-	-	872+873(折れ面接合)。米輪繩。
874	F 34	V	1765	HZ	3.5	5.4	1.0	12.8	剥片	帆状剥片。作業面調整なし。
875	F 31	VI	5586	HZ	3.0	7.0	1.2	17.4	剥片	成長剥片。
876	G 31	VI	223	HZ	3.7	5.2	1.5	21.8	剥片	帆状剥片。
877	E 72	VI	6090	HZ	6.9	6.2	2.4	72.2	剥片	帆状剥片。末端に裏面陥没。作業面調整あり。
878	G 31	VI	224	HZ	6.0	4.6	1.5	31.5	剥片	帆状剥片。難燃性有。
879	E 54	VI	3997	HZ	5.7	4.2	1.9	26.9	剥片	剥片は二分される。
880	F 63	VI	6108	HZ	8.7	5.2	2.4	94.4	剥片	先端の剥片。
881	F 34	VI	3359	HZ	8.4	4.7	1.1	39.3	剥片	881+882(折れ面接合)。難燃剥片。打面調整あり。作業面調整なし。裏面陥没。
882	F 34	VI	3360	HZ	-	-	-	-	-	881+882(折れ面接合)。
883	D 33	V	218	HZ	10.7	7.2	2.8	203.7	漆器	漆片の周辺に黒い二次加工。
884	E 72	VI	6691	HZ	11.5	7.9	9.3	116.8	剥片	裏面除去にともなう剥片。相応。
885	B 33	VI	402	HZ	11.6	7.6	3.1	344.1	漆器	扁平漆器に黒い。
886	E 72	VI	6689	HZ	5.0	9.2	2.2	60.1	剥片	886+887(折れ面接合)。帆状剥片。相応打目で打面調整なし。
887	E 74	V	7125	HZ	12.2	10.3	4.0	487.7	石核	886+887(折れ面接合)。分割縫より帆状剥片剥離。打面調整なし。
888	G 74	VI	7015	HZ	12.3	10.1	4.4	491.8	漆器	丸削状の難燃性有り相応し。刃部を設定。
889	B 13	VI	539	HZ	14.4	9.7	4.5	583.2	剥片	背面全面漆面。尖端の大型部分扁平漆器。
890	B 13	VI	325	HZ	28.0	15.3	6.5	1835.0	漆器	剥片を用い、やや間にカーブした刃部を形成する。
891	H 72	VB	7235	HZ	8.2	8.6	3.3	244.6	石核	背を分離し、両端より不定形剥片剥離。
892	D 11	V	783	HZ	11.7	9.6	2.6	231.3	剥片	背面全面漆面。

No.	Gr	树	No.	石材	長	幅	厚	重量	器種	経歴辨見
893	F 41	VI	7358	HZ	12.3	11.0	4.5	547.4	石核	織片素材、塊に成形の後、下縁に細かな整形、砸器の可能性あり。
894	G 61	Vla	7326	HZ	13.5	7.9	1.9	202.1	剥片	織面磨去にともなう剥片。
895	B 13	VI	528	HZ	21.8	10.1	10.4	3000.0	石核	瓶底削片を1枚剥離。
896	G 62	VI	17328	HZ	13.1	11.4	5.9	693.1	砸器	織片素材、織片の末端に彎い刃部を設定。
897	G 61	VI	17679	HZ	9.1	7.7	3.7	239.0	石核	織理面で分割された織片材で、断面端に向かって小剥片が剥離される。
898	F 44	VI			10.8	6.6	2.6	222.5	砸器	織面平均の筋溝に刃部設立。
899	G 52	VI		HZ	12.2	8.6	3.5	383.7	石核	織面平均で、織面より直接不定形剥片剥離。残株はチャッパー状。
900	G 62	VI	17279	HZ	15.6	15.1	10.2	2615.5	石核	織片削離、簡単な石核成形を経て、分割面より側面削離に向かって寸詰まりの複数剥片を剥離して剥離。
901	E 41	V	1496	HZ	7.1	7.5	1.7	7.2	剥片	厚手の逆走剥片。
902	F 34	V	1629	HZ	8.9	5.3	3.3	110.7	剥片	織面接着、大粒。
903	G 73	Vla	7089	HZ	11.5	7.1	2.2	187.7	剥片	分厚い、削面は織面。
904	F 41	VI	7357	HZ	11.0	7.2	4.6	294.5	剥片	下端に細かな削れあり、上部は欠損。
905	F 63	VI	6109	HZ	6.0	1.9	1.7	6.7	砸石	丸錐、砸打痕は明確でない。
906	E 71	VI	6143	S	7.2	4.2	3.9	171.8	砸石	いわゆるC字形玉。
911	表探			逆走剥片	1.7	1.4	0.4	1.3	勾玉	
912	C 74	III	33	Oz	9.8	5.8	2.0	112.8	剥片	
913	B 82	III	7	Oz	4.8	4.2	0.9	16.3	剥片	
914	B 82	III	59	Oz	5.9	3.9	1.6	27.6	剥片	
915	B 82	III	65	Oz	4.3	5.3	1.7	34.0	剥片	915+916は剥離済掌で被剥離したもの。
916	B 82	III	66	Oz	4.3	5.3	1.7	34.0	剥片	915+916は剥離済掌で被剥離したもの。
917	B 82	III	54	Oz	5.1	3.1	0.9	15.2	剥片	
918	B 82	III	67	Oz	5.7	3.4	1.3	20.3	剥片	
919	B 73	III	115	Oz	5.4	6.8	1.5	49.6	剥片	
920	B 82	III	51	Oz	5.5	7.4	2.4	73.3	剥片	
921	B 82	III	60	Oz	7.0	6.5	1.4	57.4	剥片	921+922は剥離済掌で被剥離したもの。
922	B 82	III	61	Oz	7.0	6.5	1.4	57.4	剥片	921+922は剥離済掌で被剥離したもの。
923	B 82	III	53	Oz	8.6	4.6	1.6	49.0	剥片	
924	B 84	III		Oz	6.4	4.0	1.4	25.0	剥片	
925	B 84	III	165	Oz	6.1	9.6	2.0	80.6	剥片	925+926は剥離の衝撃で折れたものか。
926	B 84	III	183	Oz	6.1	9.6	2.0	80.6	剥片	925+926は剥離の衝撃で折れたものか。
927	B 84	III	184	Oz	13.1	4.9	1.6	56.7	剥片	
928	B 84	III	153	Oz	4.3	7.3	2.1	73.8	剥片	
929	B 84	III	176	Oz	7.5	5.7	1.6	45.5	剥片	929~931は剥離済掌で分割されたか。
930	B 84	III	185	Oz	7.5	5.7	1.6	45.5	剥片	929~931は剥離済掌で分割されたか。
931	B 84	III	194	Oz	7.5	5.7	1.6	45.5	剥片	929~931は剥離済掌で分割されたか。
932	B 84	III	179	Oz	9.5	7.7	2.6	149.8	剥片	
933	B 84	III	132	Oz	8.8	3.9	1.6	44.8	剥片	
934	B 84	III	100	Oz	11.8	9.8	2.5	187.1	剥片	934~936は剥離済掌で分割されたか。
935	B 84	III		Oz	11.8	9.8	2.5	187.1	剥片	934~936は剥離済掌で分割されたか。
936	B 84	III		Oz	11.8	9.8	2.5	187.1	剥片	934~936は剥離済掌で分割されたか。
937	B 82	III	68	Oz	9.7	5.0	1.5	60.4	剥片	
938	B 82	III	52	Oz	8.2	6.5	2.8	105.0	剥片	
939	B 82	III	62	Oz	10.9	5.9	2.1	96.2	剥片	
940	B 82	III	57	Oz	8.1	6.4	1.7	83.9	剥片	940~941は剥離済掌で分割されたか。
941	B 82	III	58	Oz	8.1	6.4	1.7	83.9	剥片	940~941は剥離済掌で分割されたか。
942	B 84	III	186	Oz	5.8	3.6	1.2	19.8	剥片	
943	B 84	III	187	Oz	5.9	4.1	1.1	18.5	剥片	
944	B 84	III	169	Oz	4.1	4.9	2.0	30.1	剥片	
945	B 82	III	160	Oz	2.4	2.6	0.9	3.4	剥片	
946	B 84	III	129	Oz	10.8	10.2	2.7	214.3	剥片	946+947は剥離済掌で被剥離したもの。
947	B 84	III		Oz	10.8	10.2	2.7	214.3	剥片	946+947は剥離済掌で被剥離したもの。
948	B 84	III	177	Oz	8.8	7.3	1.5	88.8	剥片	948+949は剥離済掌で被剥離したもの。
949	B 84	III	180	Oz	8.5	7.3	1.5	88.8	剥片	948+949は剥離済掌で被剥離したもの。
950	B 84	III	167	Oz	8.9	6.2	1.9	70.4	剥片	
951	B 84	III	141	Oz	15.0	6.3	3.0	219.1	剥片	955~957は剥離済掌で分割されたか。
952	B 84	III	188	Oz	4.9	5.5	1.0	20.9	剥片	955~957は剥離済掌で分割されたか。
953	B 84	III	170	Oz	5.9	5.1	2.2	67.7	剥片	955~957は剥離済掌で分割されたか。
954	B 84	III	158	Oz	10.1	8.1	3.2	227.1	剥片	
955	B 84	III	50	Oz	8.9	7.0	2.0	124.0	剥片	955~957は剥離済掌で分割されたか。
956	B 84	III	134	Oz	8.9	7.0	2.0	124.0	剥片	955~957は剥離済掌で分割されたか。
957	B 84	III	163	Oz	8.9	7.0	2.0	124.0	剥片	955~957は剥離済掌で分割されたか。
958	B 84	III	130	Oz	9.2	6.7	2.2	121.4	剥片	
959	B 85	III	131	Oz	10.2	7.3	2.7	145.4	剥片	959+960は剥離済掌で被剥離したもの。
960	B 85	III	156	Oz	10.2	7.3	2.7	145.4	剥片	959+960は剥離済掌で被剥離したもの。

No	Gr	種	No	石材	長	幅	厚	重量	個数	説明
961	B 84	■	137	O ₁	11.5	6.7	2.1	83.8	剥片	961+962は剥離面掌で被削れたもの。
962	B 84	■	173	O ₂	11.5	6.7	2.1	83.8	剥片	961+962は剥離面掌で被削したもの。

※ 907~910は土器

No	位置	岩種	部位	法縫(cm)				粉土	形成	調査	色調	備考	
				口径	奥高	側縫	底縫						
961	SP50	深鉢	口縫	17.6	18.0	LE	17.6	・ql1~4mmの褐色・灰 褐色・灰白を含む	ナダ	口縫部9箇所の後方に具目条 板、振部や舌状方向の具目 条痕	内面・外表面に沿い、 口縫一列間にスカスカ	黄褐色	
	SP50-2	深鉢	側縫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
962	SP50	深鉢	底部	-	-	-	-	7.7 ql1~2mmの褐・灰 褐色・灰白を含む	良好	ナダ	ナダ	内面:浅黃褐色 外表面:褐色	底外表面は時代汚染。
963	SP50	深鉢	側縫から 底部	-	-	-	-	10.4 ql1~4mmの茶褐色・灰 褐色・灰白を含む	良好	ナダ	ナダ	内面に沿い黄褐色 底外表面は時代汚染。 外表面:明黄色	
964	G51VI 6227 SP61	深鉢	口縫	17.8	-	17.8	-	・ql1~4mmの赤褐色、 黒・灰・灰白・透明板を含む	良好	ナダ	斜方向の具目条痕	内面・外表面に沿い、 内面は、口縫に向けてやや 褐色	
965	SP61	深鉢	底部	-	-	-	-	8.5 ql1~2mmの褐・灰 褐色・灰白・透明板を含む	良好	ナダ	ナダ	内面:浅黃褐色 外表面:浅黃褐色	
966	E27VI	深鉢	口縫	-	-	-	-	・ql1~4mmの黒・灰 褐色・灰白を含む	良好	ナダ	ナダ	内面に沿い褐色 外表面:灰褐色	
967	E25VII3403	深鉢	口縫	-	-	-	-	・ql1~4mmの黒・灰 褐色・灰白・透明板を含む	良好	ナダ	具目条痕か 無	内面に沿い褐色 外表面落着しく調整不詳。	
968	SI37 SP50-3	深鉢	側縫	-	-	(15.6)	-	・ql1~2mmの褐色板 を含む	良好	ナダ	ナダ	内面:浅黃褐色 外表面:沿い黄褐色	

No	位置	岩種	部位	法縫(cm)				粉土	形成	調査	色調	備考	
				口径	奥高	側縫	底縫						
907	C73III6	深鉢	口縫	-	-	-	-	・ql1~2mmの茶褐色・ 褐色・灰白板を含む	良好	ナダか	ナダ	内面に沿い、黄褐色 風化著しく調節範囲細。	外表面に沿い褐色
908	C72III11	深鉢	口縫	-	-	-	-	・ql1~2mmの茶褐色・ 褐色・灰白板を含む	良好	ナダか	ナダか	内面に沿い、黄褐色 風化著しく調節範囲細。	外表面に沿い褐色
909	B74III32	深鉢	口縫	-	-	-	-	・ql1~2mmの灰・灰白 板を含む	良好	ナダ	ナダ	内面に沿い褐色 外表面:灰褐色	
910	C74III34	深鉢	底部	-	-	-	-	・ql1~4mmの灰白・透 明板を含む	良好	ナダか	ナダか	内面に沿い、黄褐色 風化著しく調節範囲細。	外表面に沿い褐色

図 版



遠く小丸川～日向灘をのぞむ（写真中央が遺跡・南西から）



田園風景と蛇行する宮田川（写真中央が遺跡）



遺跡は台地間の凹部に立地する（中央が遺跡、奥が北）



調査区（B区）の俯瞰（左手が北）



試掘・確認調査風景 (A・B区)



試掘・確認調査風景 (C区)



B区調査遠景 (唐木戸第3遺跡より)



B区調査近景



土層堆積 (丘陵部1)



土層堆積 (丘陵部2)



土層堆積 (土石流の痕跡)



土層堆積 (埋没した沢)



土層堆積（低地部1）



土層堆積（低地部2）



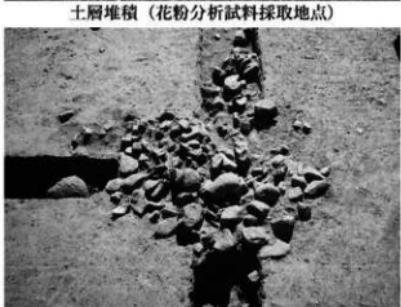
土層堆積（低地部3）



土層堆積（花粉分析試料採取地点）



SI56・57 検出状況（手前がSI56）



SI57 検出状況



SI56 断面



SI58 検出状況



SI36 検出状況



SI59 検出状況



SI9 検出状況



SI31 検出状況



SC55 検出状況



SC55 半裁状況



SC55 断ち割り状況（1）



SC55 断ち割り状況（2）



散疊検出状況（1）



散疊検出状況（2）



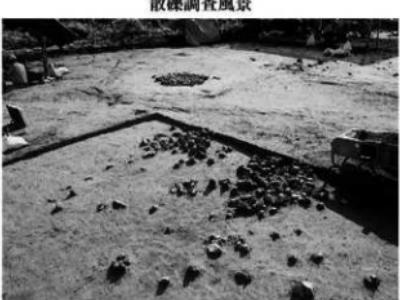
散疊中の台石検出状況（3）



散疊調査風景



散疊の包含肩位



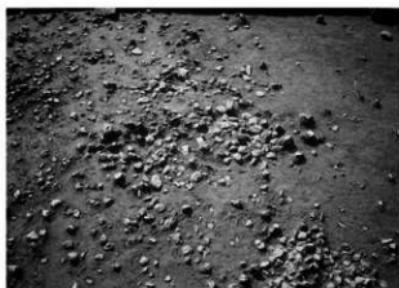
SI 5～7 検出状況（手前右からSI 5, 6, 7）



SI 8 検出状況



SI 19 検出状況



散疊中の集石遺構（手前右からSI15,17,13）



露出した集石遺構（手前左からSI13,17,15）



集石遺構を水平視（手前からSI15,17）



SI17 検出状況



SI13 検出状況



SI15 検出状況



SI13 半裁状況



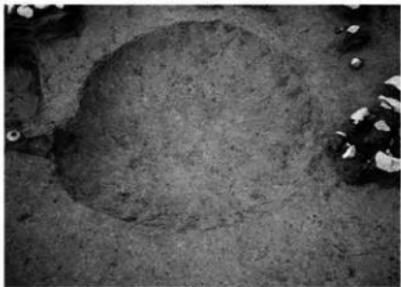
集石遺構の調査風景



SI 7 配石検出状況



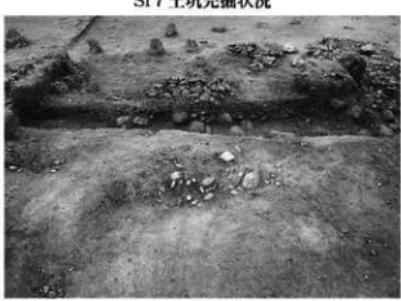
SI54 検出状況



SI 7 土坑完掘状況



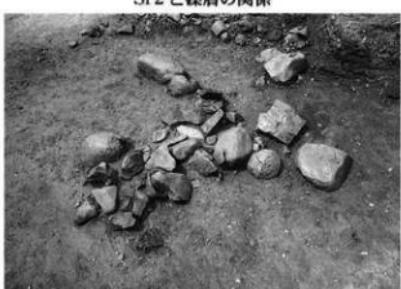
SI54 半裁状況



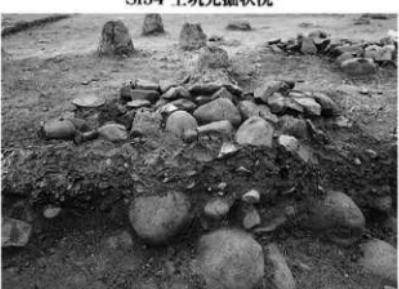
SI 2 と疊層の関係



SI54 土坑完掘状況



SI 3 検出状況



SI 2 断ち割り状況



SP61 検出状況



炉穴群完掘状況 (手前SP61・奥SP50)



炉穴群完掘状況 (左奥SP61・右手前SP50)



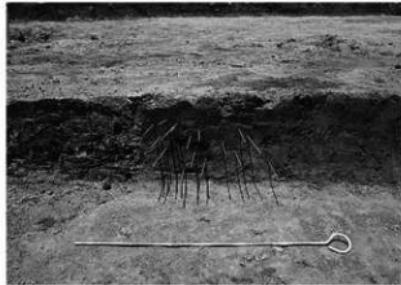
SI18 と炉穴 (左疊空白部)



丘陵斜面のシミ状遺構検出状況



シミ状遺構半裁状況



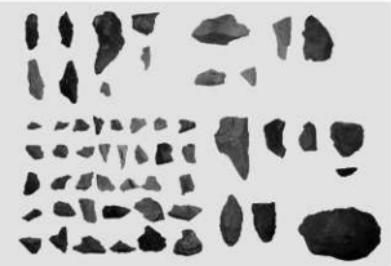
炭化材の包含状況



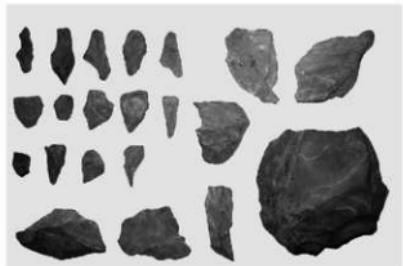
肩位横軸断面



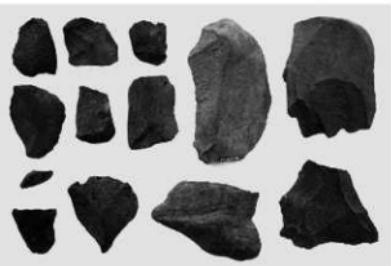
流紋岩 R 1 石器群



流紋岩 R 2 ~ R 8 石器群



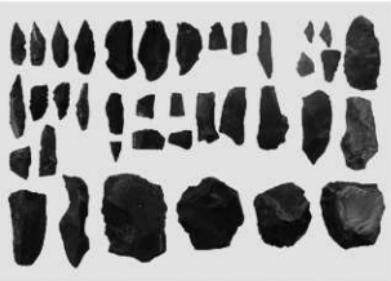
ホルンフェルス H 1 石器群



ホルンフェルス H 2 石器群



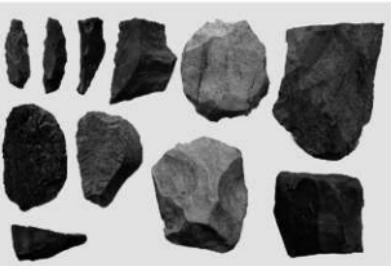
ホルンフェルス H 3 石器群



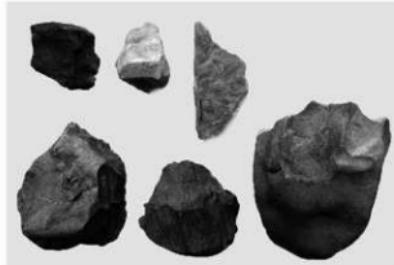
ホルンフェルス H 4・H 5・HY 石器群



ホルンフェルス H 5・H 6 石器群



ホルンフェルス H X 石器群 (1)



ホルンフェルスHX石器群（2）



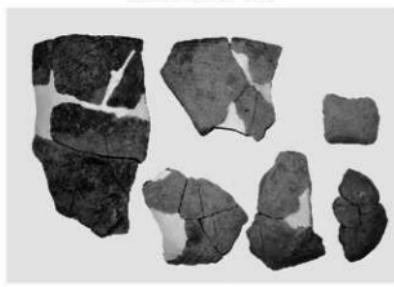
ホルンフェルスH 8ほか石器群



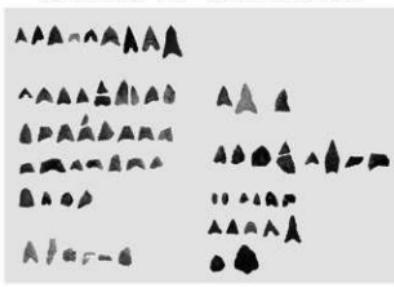
細石刃石器群（1）



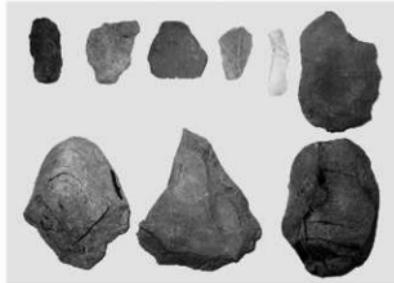
細石刃石器群（2）・縄文時代草創期土器



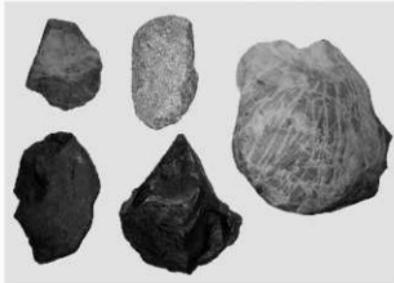
縄文時代早期土器



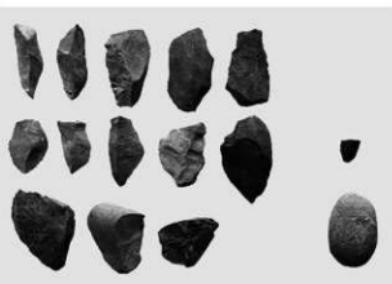
打製石器（上1列は単独出土例）



ホルンフェルスHZ石器群（1）



ホルンフェルスHZ石器群（2）



報告書抄録

ふりがな	からきどだい 4 いせき						
書名	唐木戸第4遺跡						
副書名	東九州自動車道（都農～西都間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書						
巻次	31						
シリーズ名	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書						
シリーズ番名	第126集						
執筆・編集担当者名	藤木聰						
発行機関	宮崎県埋蔵文化財センター						
所在地	〒880-0212 宮崎市佐土原町下那珂4019番地 TEL 0985-36-1171						
発行年月日	2006年3月20日						
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
からきど 唐木戸第4遺跡	みやざきけんこくごく 宮崎県見湯郡 たかねべちょうおおあざわくわ 高鍋町大字上江 あざきなからきど 字北唐木戸	45401	32°7'55"	131°28'13"	2003.05.07 ～ 2003.12.27	7,012m ²	東九州自動車道（都農～西都間）建設
種別	主な時代	主な遺構	主な遺物			特記事項	
散布地	後期旧石器時代後半	礫群9基	角錐状石器・ナイフ形石器・剥片／石核類・敲石			後期旧石器時代の角錐状石器等生産の具体像を把握。古環境復元と連動した遺跡利用に関する解釈。	
	後期旧石器時代終末	礫群	細石刃核／細石刃・削器・剥片／石核類・原石				
	縄文時代草創期	陥し穴	土器・細石刃核・細石刃				
	縄文時代早期	集石遺構・炉穴・土坑	土器・打製石器・尖頭器・削器・剥片／石核類・礫器・敲石				
	縄文時代晚期		土器・勾玉・剥片類				
	古代		須恵器坏				

宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第126集

唐木戸第4遺跡

東九州自動車道（都農～西都間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書31

2006年3月20日

編集発行 宮崎県埋蔵文化財センター
〒880-0212 宮崎県宮崎市佐土原町下郡河4019番地
TEL 0985-36-1171 FAX 0985-72-0660

印 刷 田中印刷有限会社
〒880-0022 宮崎市大橋3丁目110番地
TEL 0985-28-4724 FAX 0985-20-9285
